



なくそう！
ハラスメント！！

～考えよう 相手の気持ち～

鳴門教育大学では、ハラスメントによる人権侵害に関する
苦情相談を受けるための相談窓口・相談員を配置しています。

相談員は相談者のプライバシーを厳守しますので、
ハラスメントを受けたと思われる場合は、
一人で抱え込まず安心して相談してください。

鳴門教育大学

⊕ ハラスメントをなくすために

ハラスメントを理解しよう

セクシュアル・ハラスメント

行為者の意図にかかわらず、他者を不快にさせる性的な言動のことです。

アカデミック・ハラスメント

教育研究の場において、地位又は権限を不当に利用して行う嫌がらせ等の不適切な言動のことです。

パワー・ハラスメント

就労の場において、地位又は権限を不当に利用して行う嫌がらせ等の不適切な言動のことです。

その他のハラスメント

たとえば
 ◎モラル・ハラスメント
 ◎マタニティー・ハラスメント
 ◎ジェンダー・ハラスメント
 ◎アルコール・ハラスメント
 などがあります。



“ハラスメント”!? チェック

自分の行動をチェックしてみよう!

- 「いつ結婚するの?」「子どもを産む予定はあるの?」などの質問をした。
- 研究室や執務室にヌードポスターを貼っている。
- 挨拶代わりに肩を叩いたり「○○ちゃん」と呼ぶ。
- 場を和ますために、多少の性的な冗談を言ったり、からかったりする。
- 職場の飲み会で、主賓・上司の隣に女性を座らせお酌をさせる。
- 女性の身体を上から下まで眺める。
- 「サイズはどのくらい?」「キミは安産型だね」「最近太った(痩せた)よね?」と、身体のことを頻りに話題にする。
- 他の学生がいる前で、能力不足を非難する。



⊕ 加害者にならないために

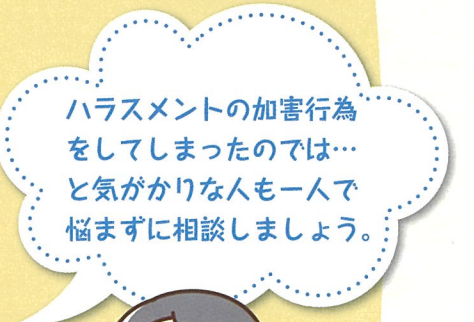
コミュニケーション環境を整えよう!

- 常に相手の人格や意思を尊重し、自分と相手がどのくらいコミュニケーションがとれているかを意識し、相手の立場に立って考え行動しましょう。
- 普段から感じたことや意見を言い合える信頼関係を築きハラスメントを起こさない環境を作りましょう。



認識しよう!

- 相手が望まない不適切な言動で不快な思いをさせると、ハラスメントになります。ハラスメントは明らかな“人権侵害”です。
- この言動によって相手はどう思うか自問自答してみましょう。



勝手に思い込むのはやめよう!

- 自分では親しみを込めたり、ほめているつもりでも相手が不快に感じればハラスメントになることがあります。
- 上司、指導教員、先輩などからの言動には、拒否の意思表示ができないことがあります。それを同意や合意と勘違いしないことが大切です。



- 必要もないのに、休日の研究や深夜における指導を強要する。
- 学生の未発表論文を指導教員が無断で引用する。
- プライベートな行動に付き合うことや送り迎えを強要する。
- 部下や年下の人から意見を言われたり、口答えをされたりするとイラッとする。
- 自分が間違っていたとしても、部下に対して謝ることはない。
- 「部下のために」と言って、必要以上に厳しく指導をする。
- 実績を上げるため、終業時刻間近でも残業を要請する。
- 部下が自分の顔を窺っているような雰囲気がある。
- 部下の家庭環境などプライベートな情報を詮索する。
- 飲み会で“一気コール”をし、一気飲みを強要する。
- ウェブページ・ブログなどで人格を侵害するような侮辱・中傷・虚偽の噂等を流す。
- 同性愛者やトランスジェンダー等の性的少数者を侮辱したり、存在を無視する。

もしハラスメントと感じたら

もしハラスメントと感じたら

- 相手に対して「不快であること」をはっきり伝え、きっぱり拒否しましょう。相手がたとえ教職員、先輩、上司であっても勇気を持って拒否し、自分自身の意思をはっきりと相手に伝えることが必要です。
- 自分一人では言えないときは、周囲の人に助けを求めらることも必要です。
- 「いつ・どこで・誰から・どのようなことをされたか」を記録してください。



もし「ノー」と言えなかったら

- 相手に「ノー」と言えなくても自分を責める必要はありません。一人で悩まないで、相談しましょう。
- ハラスメントで困っている人から援助を求められたときには助けてあげましょう。



相談員が親身になって相談にのります

相談員が相談にのります。一人で悩まずに相談してください。相談員は、あなたのプライバシーを堅く守り、対処します。

相談の流れ

相談に関する情報は、
 本学ウェブページ内「ハラスメント」に掲載しています。
<http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/02/012.html>

ハラスメント相談

